

不思議と発見がいっぱい！

対象児：1歳児 ばら組

作成日：2024年11月19日

作成者：高橋 加奈

【保育のねらい】 戸外遊びや散歩を通して、秋の自然を肌で感じ自分なりの発見や不思議さを楽しむ。



【振り返り】

過ごしやすいようになってきたこの季節、園外散歩に出かけました。暖かい太陽なのに冷たく吹く風、地域の方との関わり、生き物や自然物の発見、散歩では様々な出来事があります。「ちゅんちゅんおる」「あ！ひこうき！」「ネコおるかなあ」「おつきさまおらんねえ」など、前に見たことがあるものや今見つけたものなど、指差しや表情だけでなく言葉でもたくさんお話できるようになりました。「なんだろう？」と、見たことがないものには不思議そうにして、一緒に手をつないで歩く友達とじっと観察する姿も見られました。（健康な心と体、言葉による伝え合い）

こうした経験から園庭で遊ぶ時間には「はっば！ひらひら～」と風で舞い落ちる葉っぱを見て喜んだり、たくさんの落ち葉や木の実のようなものを見つけて集めてみたり、自然物に興味関心が広がっているなど気付きました。そのような時には「葉っぱびりびりしてみる？」「くしゃくしゃ～ひらひら～もできるよ」と、遊びを膨らませられるような声掛けを意識しています。これからも様々な経験を通し、無理に興味を持たせるということではなく、子どもたちが感じ取った不思議や発見、子どもたちから発信される言葉や表情を見逃さないように心掛けたいと思います。（自然とのかかわり・生命尊重、豊かな感性と表現）